

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 1 月 28 日作成)

小委員会名	RILEM 小委員会		主 査 名 : 本橋健司 就任年月 : 2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会		委員長名 : 梶田 佳寛
設 置 期 間	2009 年 4 月 ~ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>設置目的 : RILEM 小委員会は建築学会と RILEM の橋渡しを担うものとして設立される。RILEM 小委員会を通して、日本建築学会における材料・構造の最近の成果を RILEM の技術委員会活動に反映させるとともに、RILEM の重要な情報を日本建築学会会員に紹介する。</p> <p>・ RILEM 小委員会を通して、RILEM の重要な情報を本会会員に紹介する。</p> <p>活動計画</p> <p>初年度 : RILEM および日本におけるこれまでの研究動向を分析し、今後の研究のあり方などについて検討を進める。この成果を建築雑誌、ホームページを通して発信する。</p> <p>またこれまで同様、建築学会における委員会活動とのリンケージを随時図る。 (独)建築研究所による RILEM 国内連絡会とのリンケージを継続し、国内 RILEM 会員同士の情報交換を図る。</p> <p>2 年度 : 上記に引き続き検討を進め、その成果を建築雑誌、RILEM 小委員会ホームページに公開する。</p> <p>3 年度 : 同上</p> <p>4 年度 : 同上</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無 : 無</p> <p>委員長 : 本橋 健司 (芝浦工業大学 工学部建築工学科)</p> <p>幹事 : 三橋 博三 (東北工業大学 工学部建築学科)</p> <p>幹事 : 今本 啓一 (東京理科大学 工学部建築学科)</p> <p>委員 : 石川 雄康 (太平洋セメント中央技術研究所研究開発部コンクリート技術チーム)</p> <p>委員 : 大濱 嘉彦 (日本大学名誉教授)</p> <p>委員 : 閑田 徹志 (鹿島技術研究所 上席研究員)</p> <p>委員 : 道正 泰弘 (東京電力株式会社)</p> <p>委員 : 友澤 史紀 (日本大学 生産工学部建築工学科)</p> <p>委員 : 永山 勝 ((財)日本建築総合試験所)</p> <p>委員 : 中島 史郎 (独立行政法人建築研究所 建築生産研究グループ)</p> <p>委員 : 野口 貴文 (東京大学大学院 工学系研究科建築学専攻)</p> <p>委員 : 長谷川 直司 (独立行政法人建築研究所 建築生産研究グループ)</p> <p>委員 : 武藤 正樹 (独立行政法人建築研究所 建築生産研究グループ)</p>		
設置 WG (WG 名 : 目的)			
2010 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無 : 有り 委員会 HP アドレス : <a href="http://news-sv.aij.or.jp/zairyou/s3/">http://news-sv.aij.or.jp/zairyou/s3/</a>	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	

講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. (独) 建築研究所主催による RILEM 国内連絡会を実施し, RILEM 国内委員との情報交換を行った。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. ホームページを中心とする対外的な情報発信が予定通りなされた(アクセス数は開設以来約 6800 件(本年度アクセス約 600 件)となっている) 2. 建築雑誌において, 本年度, 5 回「RILEM ニュース」を掲載する予定(これまでの掲載数は計 50 編となる見込み)。
委員会活動の問題点・課題	特に無し

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。